



つくばみらい市
こども版総合計画



はじめに

総合計画とは、つくばみらい市の“みらい”をより良くするために、2018年(平成30年)から10年間のつくばみらい市の取組をまとめたものです。つくばみらい市では、この計画に基づいて、市民のみなさんが幸せに暮らしていけるように計画的にまちづくりを行っています。

それでは、まちづくりとはどんなことでしょうか？

この「こども版 総合計画」を読んで、まちづくりとはどんなことなのかを知ってもらいたいと思います。そして、つくばみらい市がより良いまちになるために、自分たちに何ができるか、何をしなければならないかを一緒に考えてみましょう。



つくばみらい市長 **小野 浩**

もくじ

はじめに／目次	01
総合計画とは	02
つくばみらい市の人口とお金	03・04
つくばみらい市で進むまちづくり	05～13
I LIVE IN TSUKUBAMIRAI.	14
総合計画のつくり方	15
自分にできることを考えてみよう	16

分野ごとのまちづくり

産業振興	05
土地利用	06
生活インフラ	07
住環境	08
子育て・教育	09
生涯学習・スポーツ	10
健康・医療・福祉	11
地域コミュニティ・人権	12
行財政・広報広聴	13



つくばみらい市イメージキャラクター
みらいりんぞう

こども版総合計画では、つくばみらい市の状況や、どんなまちづくりが進んでいるのかを分かりやすく紹介しているよ。
「みらいりんぞう」と一緒に、まちづくりについて考えてみよう。



I LIVE IN
TSUKUBAMIRAI.

＼ みんなで目指すまちづくりの将来像 ／

しあわせと 笑顔あふれる

みどりがつなぐ “みらい” 都市

つくばみらい市は、東京に近い利便性と、豊かな自然「みどり」が魅力で、人口がどんどん増えています。このまちに昔から住んでいる人、引っ越してきた人、企業や団体など、みんなで協力して、「しあわせ」と「笑顔」があふれるまちをつくっていきましょう。

計画期間

2018年
(平成30年)



2027年

(令和9年)

基本構想

1つの将来像

基本計画

25 施策

実施計画

600 事業

総合計画のイメージ

総合計画
とは

＼ みんなが幸せに暮らすための ／
「みらいのまちの姿」

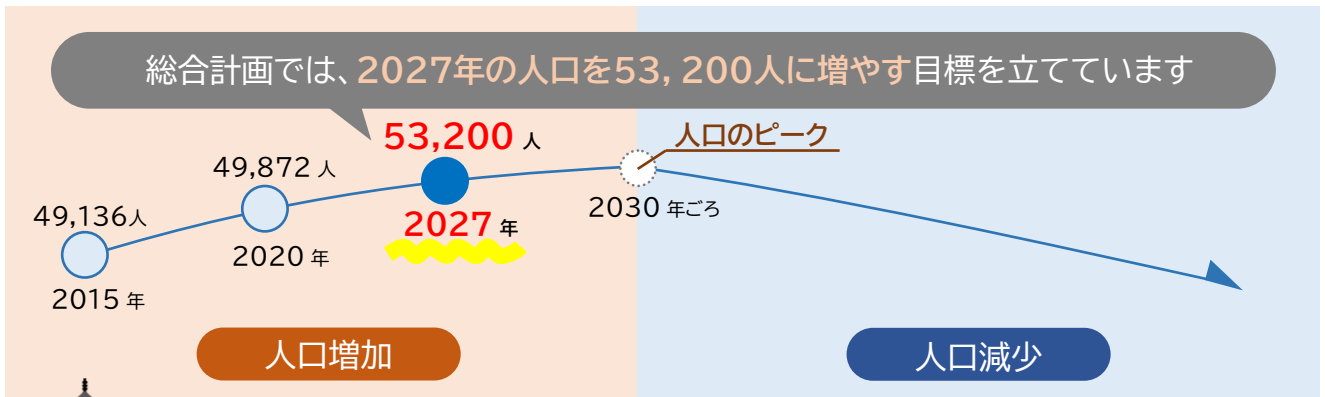
総合計画は、まちの現状や課題を共有し、目指すまちの姿やまちづくりの理念を明確にするものです。

市民、地域、団体、企業、行政などまち全体で共有して、みんなでまちづくりを進めるために策定しています。

つくばみらい市の人口とお金

つくばみらい市の人口推移

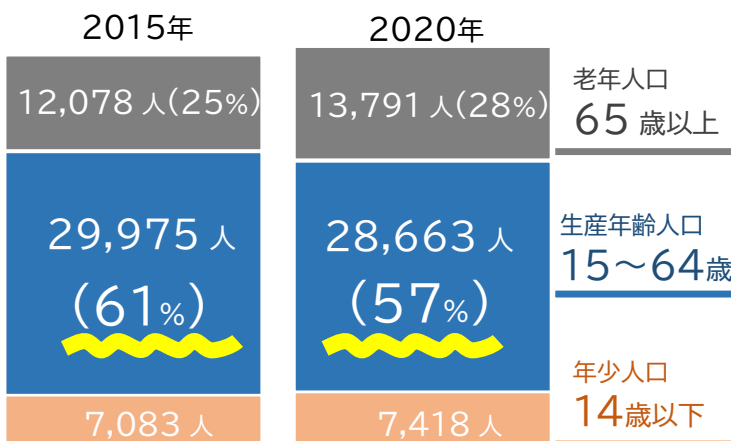
2008年3月に伊奈町と谷和原村が合併して「つくばみらい市」が誕生してから、市の人口は増加を続けてきました。



日本中で少子高齢化が進んでいるなかで、つくばみらい市は、人口が増加し続けている全国でも珍しいまちだよ。
でも、近い将来には、人口が減少し始めると予測されているんだ。

つくばみらい市の年齢別人口推移

年少人口(14歳以下)と老年人口(65歳以上)が増加していますが、生産年齢人口(15~64歳)は減少しています。



つくばみらい市って人口が増えているって聞くけれど、ずっと人が増え続けるということではないんだね。



まちを元気にするために、私たちにできることってどんなことかな？



仕事や地域イベントをしている方の多くが「生産年齢人口」の方々だよ。
まちづくりに使うお金の多くは、この「生産年齢人口」の方々が納める税金なんだ。
この年代の方々が減ってしまうと、地域のお店が閉店したり、お祭りや地域のイベントが減ったり、まちづくりのために使えるお金が減ってってしまうんだよ。

市の人口やお金の使い道などを知ること、今後の課題や問題を考えることができます。
わたしたちが、「いま、できること」「いま、やらなければいけないこと」はどんなことでしょうか。

つくばみらい市のお金の使い道

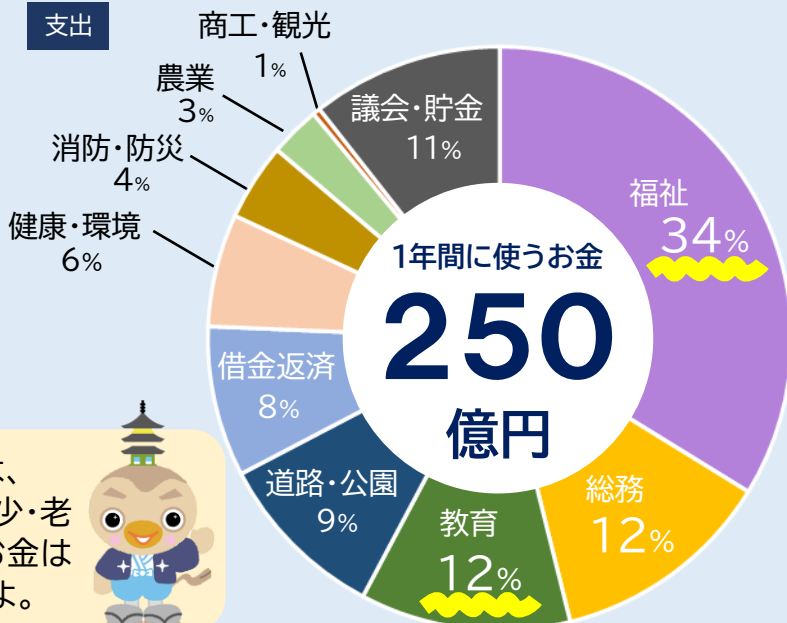
みんなが納めた税金を、みんなの暮らしのために使っています。

収入



- 税金(市民税・固定資産税など)
- 手数料や使用料
- 国や県からもらえるお金
- 借りたお金 など

支出



支出の半分を占める「福祉」や「教育」は、子どもや高齢者が主な対象なんだ。年少・老年人口が増加しているから、必要なお金はこれからも増えていくと言われているよ。



年間

市民一人あたり約48万円

福祉



163,445 円

総務



59,606 円

教育



56,407 円

道路・公園



46,270 円

借金返済



40,318 円

健康・環境



30,213 円

消防・防災



20,679 円

農業



13,528 円

商工・観光



2,017 円

議会・貯金



51,260 円

250億円 ÷ 52,000人 = 48万円/年



僕たちの生活の色々なことに、税金を使ってまちづくりが行われているんだね。どんなまちづくりが進んでいるのか、もっと詳しく見てみよう！(5 ページへ)

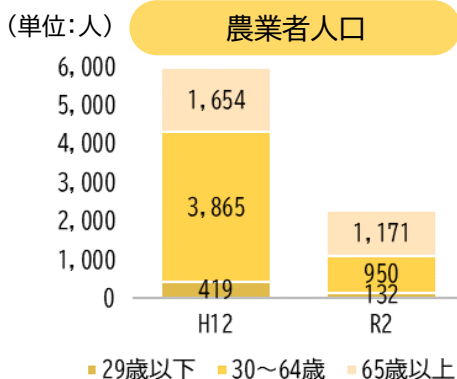
つくばみらい市で進むまちづくり

地域・社会の状況、市役所で進めていることなどをまとめています。つくばみらい市で、どのようなまちづくりが進んでいるのかを知り、自分にできることを考えてみましょう。

01 農業



- つくばみらい市は、谷原三万石と呼ばれる関東有数の米どころで、農業が盛んな地域です。
- 農業の持続的発展のため、農業所得の向上、農作物PR、農業体験などに取り組んでいます。
- 市内企業と連携して、ロボット技術などを活用した作業省力化、品質向上に取り組んでいます。



わたしたち市民にできること

- おうちや近所の農作業を手伝います
- 市内で作られた野菜などを食べます
- 農業体験イベントに参加します

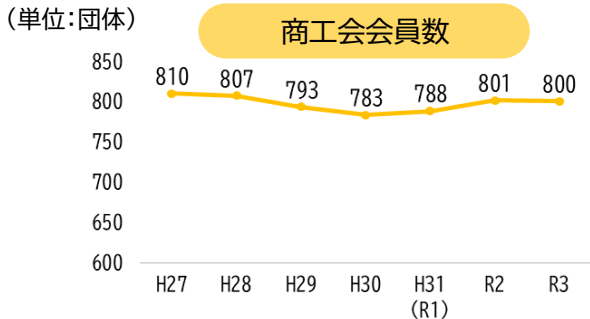


身近でできることを載せているよ。
できていることには☑をつけてみよう！

02 商工業



- 経営者の高齢化や後継者不足が問題になっています。
- インターネット販売は増加しており、スマートインターチェンジ周辺開発への期待も高まっています。
- 新商品開発、インターネット活用、経営改善など、事業者の成長や若手創業者の活躍を支援しています。



わたしたち市民にできること

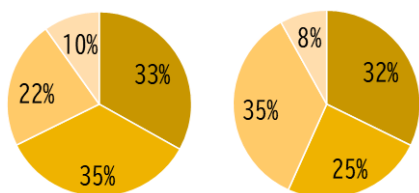
- 市内の飲食店や商店を利用します
- 家族や友人に地域のお店を紹介します

03 企業誘致・雇用促進



- 都心に近く、常磐自動車道やつくばエクスプレスなどの交通網が発達しています。
- 福岡工業団地やスマートインターチェンジなど、企業からの注目が集まっています。
- 地域の特性を活かし、企業誘致や就労支援などを進めています。

従業地・通学地別人口



わたしたち市民にできること

- 家族や友達と仕事について話し合います
- 市内にはどんな企業があるのか調べます
- 将来、どんな仕事をしたいか話し合います

市内で働いている人が県の平均より少ないね。市内産農産物を食べたり、食事や買い物を市内でしたり、市の産業を盛り上げていこう！



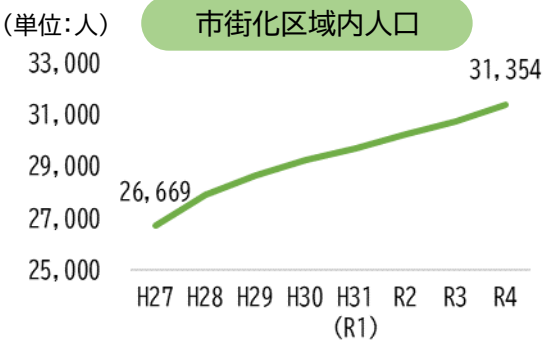


みらい平のまちなみ



04 土地利用・都市計画

- みらい平地区は人口が増加していますが、それ以外の多くの地区では、空き家・空き地が増加しています。
- 自然災害への備えと、復旧・復興を見越した土地利用が必要です。
- 良好な住環境を確保しながら、都市機能の向上する計画的なまちづくりを進めています。



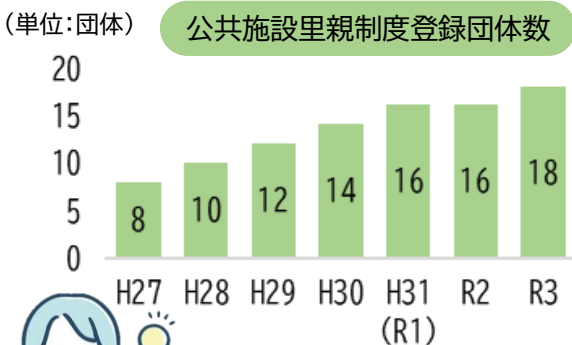
わたしたち市民にできること

- 将来のより良いまちの姿を考えます

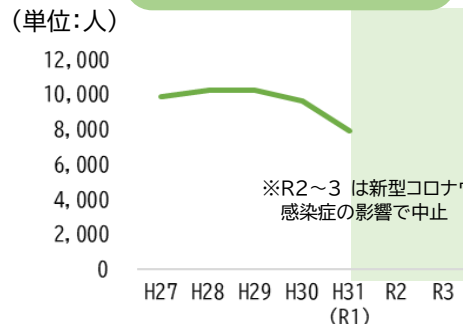
※市街化区域とは、人家や商店・ビルなどが立ち並ぶ市街化している地域や市街化を目指している地域のことです。反対に、農地や森林を維持する地域を市街化調整区域と言います。
自然環境を守りながら、市街地を計画的につくっていくために、市街化(調整)区域が設定されています。

05 自然環境・公園・河川

- 行政・市民・団体・企業などが協力してクリーン作戦を実施し、河川環境の保全に取り組んでいます。
- 堤防整備と広域サイクリングロードの整備が進み、水辺環境に親しみながらサイクリングを楽しむことができます。
- 公園などの維持管理を市民協働で行う「公共施設里親制度」を推進しています。



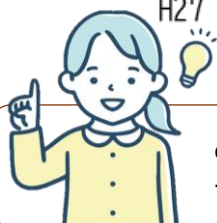
市内一斉清掃参加人数



※R2~3 は新型コロナウイルス感染症の影響で中止

わたしたち市民にできること

- 市の自然環境や生態系を調べます
- 家庭で植木や草花を育てます
- ゴミ拾いや環境美化に取り組みます

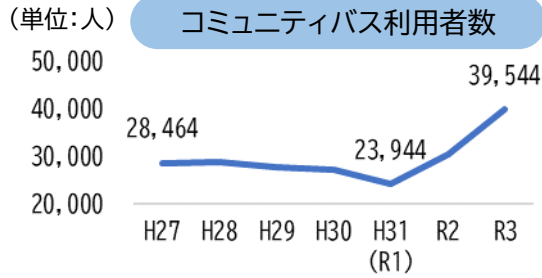


みらい平地区は人やお店が増えているし、ほかの地区は自然が豊かだよ。それぞれの良い所を活かして、より良いまちにしたいね！

06 道路・公共交通



- 老朽化した道路や橋梁を整備・補修し、安全に通行できる道路を維持しています。
- 公共交通(鉄道、路線バス、コミュニティバス、病院バス、デマンド乗合タクシー)の充実を進めています。



わたしたち市民にできること

- 道路の破損に気づいたら市役所に連絡します
- 電車やバスなどの公共交通を利用します

07 上下水道



- 老朽化した水道施設の改修、災害に対応する施設改修など必要な費用が増加しています。
- 上下水道を計画的に整備・修繕しています。
- 水質検査や水道管の洗浄を行い、水質を管理しています。

わたしたち市民にできること

- 節水を心がけます
- 生活排水はルールを守って流します

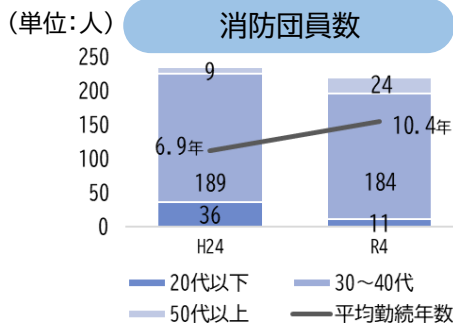
道路、水道、公共交通って当たり前に使っているけれど、私たちの税金が使われているんだね。自動車の代わりにコミュニティバスを使えば、二酸化炭素排出量を減らせるし、利用料はまちづくりに活用されるよ。私たちの日常生活が、まちづくりにつながっているんだ！



08 消防・防災



- 災害時には、まず自分で身を守り、家族や友達、近所の人たちなどと助け合うことが必要です。
- 消防団の設備を充実させ、団員を増やす取り組みを進めています。
- 消防・防災力を高めるために、施設やシステムなどを整備・運営しています。
例:消火栓、防火水槽、防災無線、防災アプリ、災害用備蓄品など



わたしたち市民にできること

- 防災ハザードマップを活用し、避難場所や避難経路を家族と話し合います
- 市の SNS やアプリで防災情報を集めます

09 防犯・交通安全

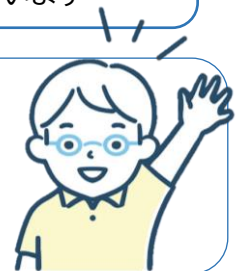


- 交通安全キャンペーンや防犯パトロールの実施、防犯カメラの設置など、交通安全や犯罪防止に取り組んでいます。
- 警察や地域と協力して、インターネット犯罪や消費者被害の防止に取り組んでいます。

わたしたち市民にできること

- 近所でコミュニケーションをとり、不審者が近づきづらい地域をつくります
- 家族で交通安全について話し合います

消防団や警察、地域の人たちが協力して、僕たちの暮らしを守ってくれているんだね。でも、少子高齢化が進むと、消防団や地域で活動してくれる人も減っていつてしまうかもしれないよ。僕たち自身が、防災・防犯・交通安全の知識を身に付けることが大切だね。



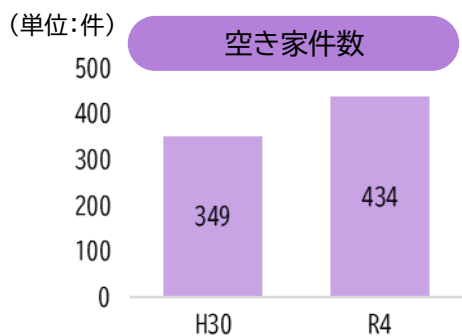


太陽光発電

10 生活環境・住環境



- みらい平駅周辺の都市的な街並みと、筑波山・富士山などが見渡せる景観や田園風景が両立しています。
- 騒音などの公害や有害鳥獣被害への対策、空き家・空き地の有効活用を進めています。
- 誰もが安心して暮らせるよう、公営住宅・民間賃貸住宅への入居支援を行っています。



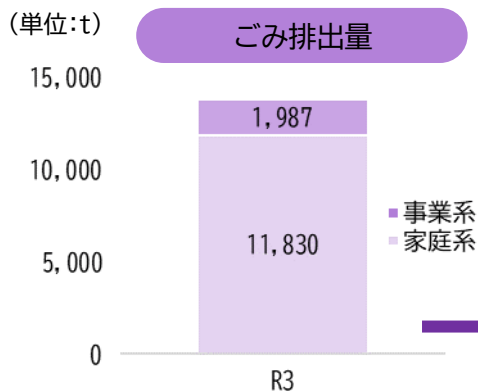
わたしたち市民にできること

- 敷地内の樹木、雑草を適切に管理します
- 自転車を路上に放置せず、自転車駐車場等を利用します

11 環境対策



- 循環型社会の形成には、市民・団体・企業・行政が協力して取り組むことが大切です。
- 2020年に「ゼロカーボンシティ共同宣言」を出し、公共施設に太陽光発電施設などを導入しています。



わたしたち市民にできること

- 環境問題(ゼロカーボンなど)について話し合います
- 節電を心がけます
- ごみの正しい分別や削減で3Rに取り組みます
- 食べ残しをなくし、食品ロスを減らします
- マイバック・マイ水筒を利用します

市民一人当たりのごみ排出量は、
1か月で**20kg**にもなります

みんなで協力して、清潔で住みやすいまちにしていきたいね。ごみの分別やエネルギーの無駄づかいを減らすことは、すぐにでも始められるね。

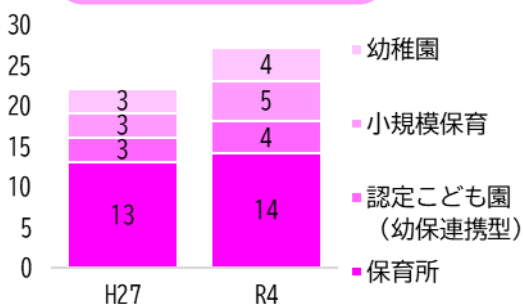


12 子育て(幼児教育含む)



- 妊娠期から出産・子育て期まで、切れ目ない支援を行っています。
- 保護者の就労状況や地域の実情、教育ニーズなどに対応できるよう、施設や環境の整備を進めています。

(単位:施設) 保育所・幼稚園数



わたしたち市民にできること

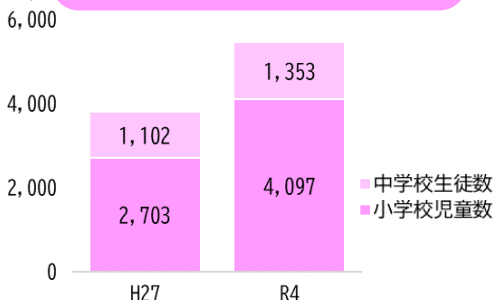
- 家族みんなが協力して家事や子育てを行います
- 妊産婦や子育て家庭を温かく見守り、思いやりのある行動を心がけます

13 学校教育



- 地区ごとの児童生徒数の偏りや教職員の業務量増加が課題になっています。
- 教育施設の適正配置や教職員の働き方改革を進め、より良い教育環境の整備を進めています。
- GIGA スクール構想に基づく ICT の活用や STEAM 教育を取り入れ、時代の変化やグローバル社会に対応できる能力の育成を推進しています。

(単位:人) 小学校児童数・中学校生徒数



わたしたち市民にできること

- 学校行事に参加・協力します
- 学校給食に関心を持ち、「食」について考えます
- 地域の部活動やスポーツ少年団などの活動に参加します

市内全体ではこどもが増えているけれど、人口が減少している地区もあるよね。それぞれの良い所を活かして、みんなでまちを盛り上げたいね。

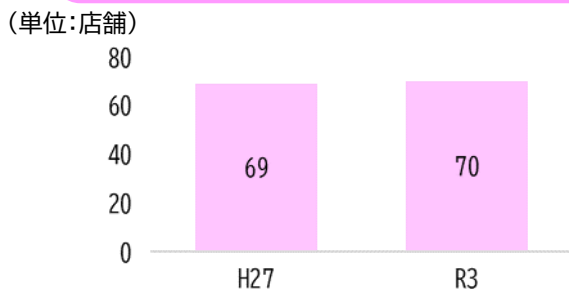


14 青少年健全育成



- 青少年相談員や青少年の健全育成に協力する店と協力して、青少年の健やかな成長を支援しています。
- いじめや不登校の無い環境をつくるため、学校・家庭・地域と連携して取り組んでいます。

「青少年の健全育成に協力する店」登録店舗数



わたしたち市民にできること

- 地域の人に挨拶や声掛けをします
- 自分自身を取り巻く社会問題などについて関心を持ちます
- SNS の利用について家庭で話し合います

いじめや不登校を無くすことや、犯罪に巻き込まれないようにするためにも、日ごろからみんなでコミュニケーションをとっていくことが大切だね。





みらいマラソン

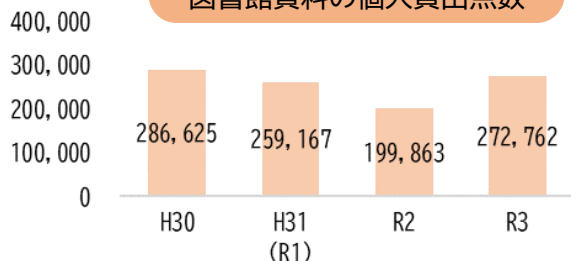


15 生涯学習・歴史・文化・観光

- 誰もが気軽に学問や歴史・文化に触れ、学んだことを地域で活かせるまちづくりを目指しています。
- 市の歴史・観光資源を継承するため、専門知識を持った人材や地域の担い手育成を進めています。
- 観光資源を活用した交流人口・関係人口の拡大を推進しています。

(単位:点)

図書館資料の個人貸出点数



わたしたち市民にできること

- 郷土の歴史文化を学び、家族や友人と話をします
- お祭り、イベントなどに家族や友人と参加します

※交流人口・関係人口とは
観光、通学、通勤などでまちと交流している人を「交流人口」と言います。そして、「交流人口」よりもまちとの関りが強く、まちの出身者、地域のイベントなどで継続的にまちに関わる人などを「関係人口」と言います。
交流人口・関係人口が増えれば、人口が減少しても、まちに賑わいを創り出していくことができます。



地域の歴史や文化、観光名所を勉強して、友達や市外の人に話をすれば、つくばみらい市の魅力を私たちがPRできるね。

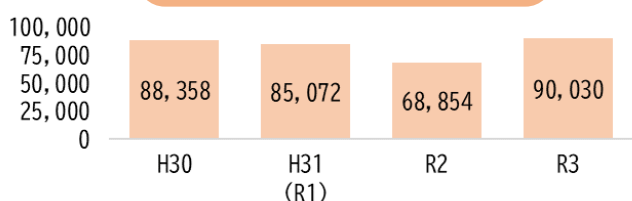
16 スポーツ



- 「誰でも」「いつでも」「いつまでも」気軽にスポーツを楽しめる「生涯スポーツ社会」を目指しています。
- 総合運動公園の整備や、みらいマラソン、スポーツフェスティバル、スポーツ教室などの開催をしています。

(単位:施設)

スポーツ施設利用者数



わたしたち市民にできること

- 家族や友人と色々なスポーツを楽しみます
- 適度な運動を習慣にします
- イベントや教室などに参加し、新たな仲間を増やしていきます

H31(R1)・R2 は、新型コロナウイルス感染症への対応で、図書館やスポーツ施設の利用者が減ったけれど、R3 には元に戻ってきているね。感染症予防やルールを守って、施設をたくさん利用しよう！

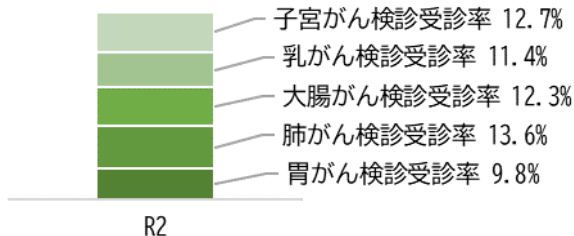


17 健康・医療



- 食習慣の基礎作り、運動習慣や食育の大切さをPRし、市民の健康づくりを推進しています。
- 感染症まん延を予防するため、予防接種の正しい知識と必要性を周知しています。
- 市内のクリニックと協力して、健康診断やかかりつけ医の必要性・重要性を周知しています。

がん検診受診率



わたしたち市民にできること

- 予防接種や感染症予防の正しい知識を身につけます
- 栄養バランスに気を配り、正しい食生活を心がけます

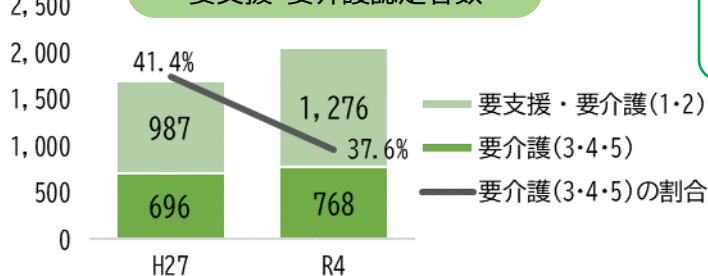
18 地域福祉・社会保障



- 民生委員・児童委員と協力して市民の相談・支援を行っています。
- 介護・医療・保険・福祉など、様々なニーズに対応した支援を行っています。

(単位:人)

要支援・要介護認定者数



わたしたち市民にできること

- 地域をより良くするため、地域みんなで助け合います

※要支援・要介護とは日常生活の中で、どの程度の介護(介助)を必要とするのかの度合いです。要支援1が最も必要度が低く、要介護5が最も必要度が高いとされています
(低い) 要支援1→2→要介護1→2→3→4→5 (高い)

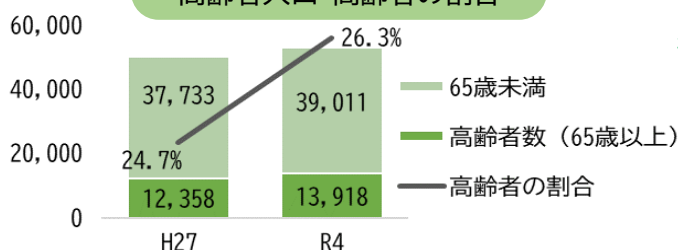
19 高齢者福祉



- 介護予防体操などを通して、高齢者が生き生きと生活できる地域づくりを推進しています。
- 医療・介護・予防・住まい・生活支援など、生活全般にわたる高齢者への支援を行っています。

(単位:人)

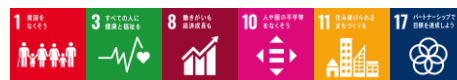
高齢者人口・高齢者の割合



わたしたち市民にできること

- 日ごろから、近所の高齢者への声掛けや手助けを行います

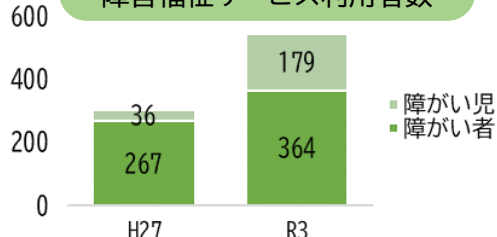
20 障がい福祉



- 障がいへの理解を深め、障がいのある方への差別解消、虐待防止に取り組んでいます。
- 気軽に相談できる相談窓口や、手当・助成制度などを周知しています。

(単位:人)

障害福祉サービス利用者数



わたしたち市民にできること

- 障がいの有無にかかわらず、お互いを尊重し、理解を深めます

介護(介助)が必要な人、高齢者、障がい者が増えているね。健康的な生活を心がけることはもちろん、周囲の人への手助けもできると良いね。



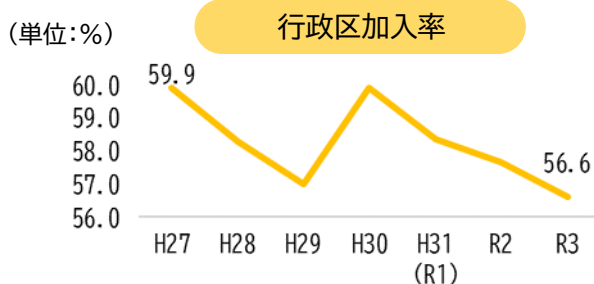


異文化交流



21 地域コミュニティ

○みらい平地区ではコミュニティの形成が進んでおらず、その他の地区では高齢化が課題となっています。
○みらい平市民センターの「市民活動まちづくりセンター」では、市民活動団体への支援を行っています。



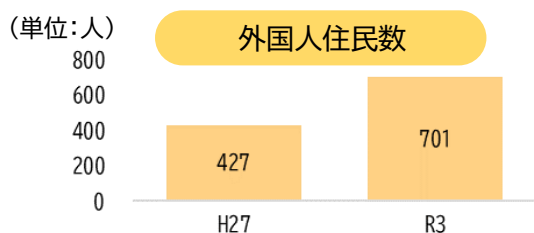
わたしたち市民にできること

- 自治会活動や地域のイベントに参加します
- 地域やコミュニティのなかで、自分たちにできることを話し合います

※行政区とは、地域の課題や困りごと、交通安全や防犯・防災などについて、地域のみんで話し合い、解決していくための、地域ごとの組織です。

22 人権・共生社会

○障がいのある人や文化の違いがある外国人などへの理解を深め、一人ひとりにあった支援をすることが重要です。
○性的マイノリティに対する周囲の理解不足から、偏見や困難に直面している方もいます。
○人権教室や人権相談、気軽に相談できる窓口の設置など、社会生活に困難を抱える方々を支援しています。

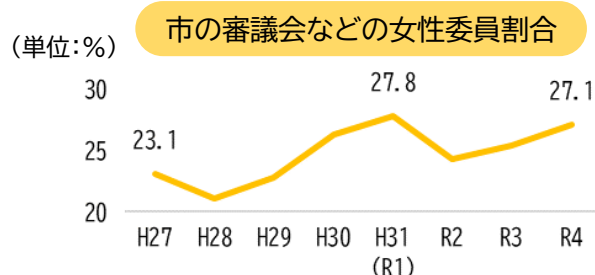


わたしたち市民にできること

- 一人ひとりの人権や個性を尊重します
- 文化や風習の違いで困っている方を積極的に手助けします

23 男女共同参画

○ODV 被害者など、悩みを抱える相談者一人ひとりの生活や周囲の状況に応じた支援を行っています。
○男女平等の意識向上、仕事・家庭・地域活動などにバランスよく参画できる環境づくりを進めています。



わたしたち市民にできること

- 性別で役割を分けず、個性や能力を尊重します
- 誰もが能力を発揮できるよう、みんなで意見交換します

性別・人種・国籍などで差別されることなく、地域や社会で誰もが活躍できる社会にしていきたいね。





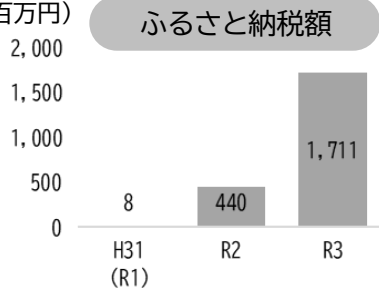
市役所職員

24 行財政運営・職員育成



- 企業や他自治体との連携、デジタル技術などを取り入れ、市民ニーズへの対応と課題解決に取り組んでいます。
- 人材雇用・育成と財源の確保、重点的な予算配分で、健全かつ戦略的な行財政運営を進めています。

(単位:百万円)



わたしたち市民にできること

- 市役所や議会の取組に関心を持ちます
- 市の財政や税金の使い道に関心を持ちます

※ふるさと納税とは、ふるさとや応援したい市町村に寄付ができる制度です。寄付者は、納める必要がある税金から、寄付金額の一部を、差し引くことができます。



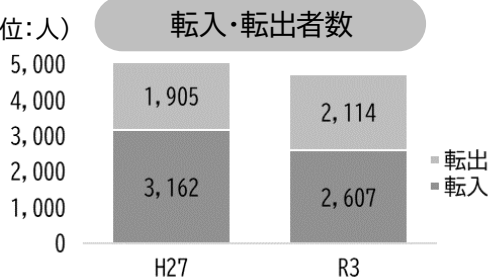
より良いまちになるように、市役所も工夫しているんだね。
ふるさと納税で寄付がたくさん集まれば、できることも増えていくね。

25 広報・広聴・シティプロモーション



- 広報紙や市 HP、SNS など、市民が共感でき楽しめる情報を発信しています。
- 「100年間、愛される地元をつくろう。」をテーマに、市民が愛着と誇りを持てるまちづくりを進めています。
- 市民懇談会では、市長と市民が直接意見交換し、市民意見を市の事業に反映しています。

(単位:人)



わたしたち市民にできること

- 市広報紙や SNS で積極的に情報収集します
- つくばみらい市の良さを市内外に発信します

市長や市役所に自分の意見を言ったり、市が発信する情報を集めることで、私たちがまちづくりに関わることができるんだね。

「I LIVE IN TSUKUBAMIRAI.」の動画も見てみよう！(14ページへ)



100年間、愛される地元をつくるためのつくばみらい市のスローガン
「I LIVE IN TSUKUBAMIRAI.」

I LIVE IN TSUKUBAMIRAI.

「私はつくばみらいに住んでいる。」という意味のこの言葉には、
市民のみなさんに、つくばみらい市民としての
誇りを持ってもらいたいという気持ちが込められています

東京のベッドタウンとして、
交通の利便性が良いまちとして、
成長してきたまち

これからの100年で、このまちは、どうなるのだろう
今日生まれる子どもたちは、笑顔で生きていけるだろうか

私たちが、このまちの未来をつくろう
子どもたちのために、責任を果たそう

まちの内側から熱気が起こり、
市民が主役となって、
日常が活気に満ちていく

自分たちの力で心踊る毎日を創り出すことができる
そんな自発的なまちになれば、
みんな笑顔で生きていくことができるのではないだろうか

I LIVE IN TSUKUBAMIRAI.

市民のみなさんがこの言葉を胸を張って語り、
この言葉に憧れる人々が移住してくる
そういう未来をつくばみらい市は目指しています

さあ。100年間、愛される地元をつくろう。



モチベーションムービー

総合計画のつくり方

市民・団体・企業など様々な人の意見や考えを集めて、総合計画はつくられています。まちの現状、課題、どんなまちを目指していくのかということをおもなで考えました。総合計画を読んで、より良いまちを目指して、みんなで協力して行動していきましょう。

POINT 01

総合計画をつくるときには、たくさんの意見や考えを集めています。

市民が参加する会議(総合計画審議会)、ワークショップやアンケートなどで、市に関わるたくさんの人が意見を出し合って計画をつくってききました。

総合計画審議会



市民ワークショップ



市民インタビュー



アンケート



どんなまちを目指していくのかを、自分たちで決めているということだね。

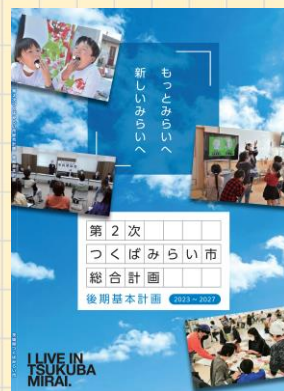
POINT 02

みんなの意見や考えを計画書にまとめています。

みんなが同じ目標に向かってまちづくりが進められるように、市の現状や課題を整理して、みんなの意見や考えを取りまとめたものが「総合計画」です。



総合計画を読んで、どんなまちづくりが進んでいるのかを知ることや、みんなで目標を共有することが大切なんだね。



POINT 03

みんなで作った計画だから、みんなで進めていくことが大切です。

2023年4月から、新たな総合計画がスタートしました。総合計画に書いてあることを読んで、みんなで協力して、まちづくりを進めていくことが大切です。



総合計画の本冊は、市HPからご覧ください。

つくばみらい市に関わる全ての人がかちづくりの主役だよ。日常生活での一つ一つの考えや行動が、まちをより良くすることに繋がっているんだ。一人ひとりが、「自分にできること」や「周りの人と協力できること」で、より良いまちを目指していくことが大切だよ！次のページで、自分のできるまちづくりを考えてみよう！(16ページへ)



つくばみらい市をより良いまちにしていけるために
自分にできることを考えてみよう！



どんなつくばみらい市になったら良いと思う？
理想のまちにするために自分にできることって何だろう？



10年後の自分はどんなことをしているかな？
つくばみらい市で何をしているかも考えてみよう！



つくばみらい市 こども版 総合計画

発行 令和5年5月

発行者 つくばみらい市

編集 つくばみらい市 市長公室 企画政策課

〒300-2395

茨城県つくばみらい市福田195(伊奈庁舎)

TEL0297-58-2111

FAX0297-58-5611